



報道資料

2025年 06月 4日(水)

韓日国交正常化60周年を迎える6月、東京と大阪で記念公演開催

- ー 6月17日(火)、駐日韓国文化院、韓日のベテラン及び次世代演奏家による室内楽公演『ハーモニーの共鳴：韓日友情の旋律』を開催
- ー 6月28日(土)、駐大阪韓国文化院、韓国の螺鈿匠・扇子匠の作業工程を舞踊と音楽で描いた創作公演『職人の時間—光と風』を上演

大韓民国 文化体育観光部(長官 ユ・インチョン)および駐日韓国文化院(院長 パク・ヨンヘ)、駐大阪韓国文化院(院長 キム・ヘス)、韓国国際文化交流振興院(院長 パク・チャンシク)は、韓日国交正常化 60 周年となる 6 月 22 日の時期に合わせ、東京と大阪で記念公演を開催します。

東京では、韓日クラシックのベテランと次世代演奏家による室内楽コンサート

駐日韓国文化院は、6 月 17 日(火)に東京・サントリーホール(約 2000 席)にて、韓日を代表する各世代の演奏家 16 組が出演する室内楽公演『ハーモニーの共鳴：韓日友情の旋律』を開催します。

出演者には、サントリーホールの館長でチェリストの堤剛氏、東京藝術大学名誉教授でヴァイオリニストの澤和樹氏、世界的チェリストのヤン・ソンウォン氏、東京国際ヴィオラコンクールで韓国人初の優勝を果たしたパク・ハヤン氏、リーズ国際ピアノコンクールで最年少(18 歳)優勝を果たしたキム・ソヌク氏など、韓日の著名なアーティストが揃い、両国の友情を象徴する演奏を披露します。

本公演の芸術監督を務め、チェリストとして出演するヤン・ソンウォン教授は、「今回のプログラムは、これからの数十年を見据えた深い友情のメッセージを込め、国境や時代を超える音楽の力を象徴するような世代を超えて愛されてきた名曲で構成した」とコメントしています。

大阪では、職人の作業を舞台化し、工芸文化を通じて両国の共感形成を図る

駐大阪韓国文化院は、韓国国家遺産庁国立無形遺産院とともに、6 月 28 日(土)に大阪・Sky シアターMBS において、韓国の伝統工芸をテーマにした創作公演『職人の時間—光と風』を上演します。本作品は今年 4 月に韓国で初演され、韓国の伝統工芸である螺鈿と扇子の制作過程を舞踊や韓国の伝統音楽と融合させ、新たな芸術表現として再解釈したものです。

韓国の国家無形遺産保有者である螺鈿匠・パク・ジェソン氏と扇子匠・キム・ドンシク氏が、実際に舞台上でその技を披露します。舞踊や韓国伝統楽器であるセンファンやコムンゴの音色が響き合い、職人たちの哲学や時の流れを鮮やかに表現します。

本公演は、韓国国家遺産庁国立無形遺産院の制作によるもので、2023 年に陶器匠とメドゥプ匠をテーマに制作された「考える手―土と糸の舞」に続く作品です。演出は、伝統と現代を融合させた感覚的かつ創造的な舞台で注目を集めるイ・インボ氏が担当します。韓日両国の伝統文化に息づく共通点や違いを芸術的に掘り下げ、職人精神という共通の文化的財産を分かち合える公演となることが期待されています。

文化体育観光部と駐日韓国文化院、駐大阪韓国文化院、韓国国際文化交流振興院は、これらの公演をはじめ韓日国交正常化 60 周年を記念する多様な展示や文化イベントを通じて、両国の文化芸術交流の深化と発展を目指してまいります。

【東京公演概要】

- ・公演名：ハーモニーの共鳴：韓日友情の旋律
- ・日時：2025 年 6 月 17 日（火）18:30 開演
- ・場所：サントリーホール 大ホール（港区赤坂 1-13-1）
- ・主催：文化体育観光部
- ・主管：駐日韓国文化院、韓国国際文化交流振興院
- ・後援：外務省

【大阪公演概要】

- ・公演名：職人の時間―光と風
- ・日時：2025 年 6 月 28 日（土）17:00 開演
- ・場所：Sky シアターMBS（大阪市北区梅田 3-2-2、JP タワー6F）
- ・主催：文化体育観光部
- ・主管：駐大阪韓国文化院、国家遺産庁国立無形遺産院、韓国国際文化交流振興院
- ・後援：外務省、文化庁、大阪府、大阪市

お問い合わせ先

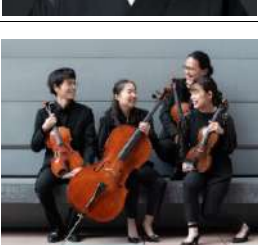
 駐日韓国文化院 Korean Cultural Center in Japan	東京公演 駐日韓国文化院	パク・ジフン（公演担当）	ジョ・ウンギョン（広報担当）
		pr@koreanculture.jp	03-3357-5970
 駐大阪韓国文化院 Korean Cultural Center Osaka	大阪公演 駐大阪韓国文化院	ソン・スンヒョン（公演担当）	家崎萌々子（広報担当）
		osaka@k-culture.jp	06-6585-0585

添付1 駐日韓国文化院 <ハーモニーの共鳴：韓日友情の旋律> 公演詳細

添付2 駐大阪韓国文化院 <職人の時間―光と風> 公演詳細

□ 出演

	堤 剛 (チェロ/芸術監督) 名実ともに日本を代表するチェリスト。サントリーホール館長、桐朋学園大学特命教授、韓国国立芸術大学客員教授。日本芸術院会員、霧島国際音楽祭音楽監督。文化勲章受章。
	ヤン・ソンウォン (チェロ/芸術監督) Music in PyeongChang (韓国)、ボーン・ベートーヴェン音楽祭(フランス)芸術監督。延世大学(ソウル)・英国王立音楽院教授。
	澤 和樹 (ヴァイオリン/芸術アドバイザー) ロン＝ティボー、ヴィエニアフスキ、ミュンヘン各コンクール入賞。イザイ・メダル、ボルドー音楽祭金メダル。東京藝術大学・英国王立音楽院名誉教授。
	ソ・ソンヨン (ソプラノ) チャイコフスキー、フランシスコ・ヴィーニャス、マリア・カラスなど各国際コンクール優勝。ワルキューでベルリン・ドイツ・オペラデビュー
	福井 敬 (テノール) 1992 年のデビュー以来日本を代表するテノールとして活躍。芸術選奨文部科学大臣賞等受賞多数。国立音楽大学教授。東京藝術大学非常勤講師。二期会会員。
	イム・ジヨン (ヴァイオリン) 2015 年 韓国人初のエリザベート王妃コンクール優勝者。フランクフルト放送交響楽団、NHK 交響楽団などのオーケストラや著名な音楽家と共演。
	パク・ハヤン (ヴィオラ) 2022年、東京国際ヴィオラコンクール優勝(韓国人初)。12歳で受賞したレオポルド・ベランをはじめ、数々の国際コンクールで上位入賞。

	チョ・ソンヒョン（フルート） 英国フルート協会コンクール優勝、フリードリヒ・クーラウ・コンクール優勝。ケルン・ギョルツェニヒ管弦楽団首席フルート奏者。
	キム・ソヌク（ピアノ） リーズ国際ピアノコンクール最年少優勝。エトリンゲン国際コンクール、クララ・ハスキル国際コンクール優勝。
	パク・ジェホン（ピアノ） ブゾーニ国際ピアノコンクール優勝および4つの特別賞受賞。ジーナ・バッカウアー、クレーヴランド・ヤング・アーティスト・コンクール優勝。
	小山 実稚恵（ピアノ） 圧倒的存在感をもつ日本を代表するピアニスト。チャイコフスキー、ショパン国際ピアノコンクール入賞以来、常に第一線で活躍し続けている。
	實川 風（ピアノ） ロン＝ティボー国際コンクール第3位(第1位なし)。カラーリョ国際ピアノコンクール第1位。
	福井 麻衣（ハープ） パリ国立高等音楽院ハープ科、室内楽科を経て同音楽院修士課程を首席で卒業。パリ・オペラ座やセイジ・オザワ松本フェスティバルのオペラに参加。
	キム・テクス（作曲家） 国際尹伊桑作曲賞(2009)、バーロウ基金作曲賞(2021)等受賞。 韓国国立交響楽団コンポーザー・イン・レジデンス(2014-16)等歴任。 サンディエゴ州立大学作曲音楽理論准教授。
	クアルテット・インテグラ（弦楽四重奏） 三澤響果(第1ヴァイオリン)、菊野凜太郎(第2ヴァイオリン)、山本一輝(ヴィオラ)、パク・イエウン(チェロ)。第71回ミュンヘン国際音楽コンクール弦楽四重奏部門第2位 & 聴衆賞受賞。バルトーク国際コンクール弦楽四重奏部門第1位。
	葵トリオ（ピアノ三重奏） 秋元孝介(ピアノ)、小川響子(ヴァイオリン)、伊東裕(チェロ) 第67回ミュンヘンコンクールのピアノ三重奏部門で日本人団体として初優勝。 現在最も注目を集めるピアノ三重奏団。

☐ プログラム ※プログラムは諸事情により変更になる場合があります。

- ・モーツァルト:2 台のピアノのためのソナタ K.448 より I. Allegro con spirito
 實川風(ピアノ)、パク・ジェホン(ピアノ)
- ・モーツァルト:弦楽五重奏曲 K.515 より I. Allegro
 クアルテット・インテグラ(弦楽四重奏)、パク・ハヤン(ヴィオラ)
- ・ドビュッシー:フルート・ヴィオラ・ハーブのためのソナタ
 チョ・ソンヒョン(フルート)、パク・ハヤン(ヴィオラ)、福井麻衣(ハーブ)
- ・キム・テクス:ピアノ五重奏曲(世界初演)
 クアルテット・インテグラ(弦楽四重奏)、パク・ジェホン(ピアノ)
- ・ベートーヴェン:ピアノ三重奏曲「大公」より I. Allegro Moderato
 澤和樹(ヴァイオリン)、堤剛(チェロ)、キム・ソヌク(ピアノ)
- ・細川俊夫:メモリー ―尹伊桑の追憶に―
 葵トリオ(ピアノ三重奏)
- ・シューベルト:幻想曲 D 940
 小山実稚恵(ピアノ)、キム・ソヌク(ピアノ)
- ・プッチーニ:歌劇《ラ・ボエーム》～ おお、麗しの乙女よ
- ・ヴェルディ:歌劇《椿姫》～ 乾杯の歌
 ソ・ソンヨン(ソプラノ)、福井敬(テノール)、秋元孝介(ピアノ)
- ・メンデルスゾーン:弦楽八重奏曲 Op.20 より I. Allegro moderato ma con fuoco, IV. Presto
 イム・ジョン(ヴァイオリン)、菊野凜太郎(ヴァイオリン)、小川響子(ヴァイオリン)、澤和樹(ヴァイオリン)、
 山本一輝(ヴィオラ)、パク・ハヤン(ヴィオラ)、堤剛(チェロ)、ヤン・ソンウォン(チェロ)

☐ 公演ポスター

□ 公演紹介

光を宿して歳月を刻んだ螺鈿、風を抱いて時代を越えてきた合竹扇。

伝統の光と風に染み込んでいる職人の時間を、今日の公演芸術で新しく出会う。

- ◆[第1幕 物の時間] 職人が創作した工芸作品と、物に込められた時間の痕跡を表現する。
- ◆[第2幕 手が紡ぐ時間] 職人の手が作り出す運動性をダンサーや演奏家のエネルギーに拡張する。
- ◆[第3幕 職人] 観客が職人の作業過程と一緒に眺めながら、その行為を通じて悟りの手がかりを探す。

□ 演出ノート - 演出 イ・インボ

「職人の時間-光と風」は韓日国交正常化60周年を記念する文化芸術交流の場である。韓国の伝統工芸と現代芸術が交差する今回の公演は、両国が長い間共有してきた職人精神、工芸美学、修行の態度にスポットを当て、文化の類似性の中の多様性を芸術で解きほぐす。

韓国の合竹扇と螺鈿漆器は長い時間繰り返されて形成された工芸文化であり、これは日本の伝統的な手工芸とも深い共感を作り出す。竹を数千回削り、薄い螺鈿を丹念に貼る過程は、職人の時間と忍耐、精進という普遍的な価値を抱いている。今回の公演は、このように東アジア工芸の伝統が共有する感覚と哲学、そしてその中に隠れている微妙な違いと固有性を同時に覗き見る。

今回の公演は単なる再現ではない。伝統演劇、現代舞踊、設置美術、映像芸術が調和し、職人の行為を時間芸術に拡張する。職人の指先から始まった動きはダンサーの身振りにつながり、扇子が起こした風は新しい感覚の流れになる。螺鈿の光は舞台の上で時間と空間を照らす。

□ 出演およびスタッフ

○韓国国家無形遺産 保有者

	大韓民国 国家無形遺産 螺鈿匠 保有者 朴載成 (パク・ジェソン) 2008 慶尚南道 最高名匠 選定 2010 エッセゴールドリーフ たばこ デザイン開発 2012-2024 トンヨン 統営 螺鈿漆器 展示会 参加 2020 韓国工芸デザイン文化振興院 企画展 参加 2023 大韓民国 国家無形遺産 螺鈿匠 保有者 認定
---	---

	大韓民国 国家無形遺産 扇子匠 保有者 金 東植(キム・ドンシク) 2007 全北特別自治道 無形遺産 扇子匠 保有者 認定 2015 大韓民国 国家無形遺産 扇子匠 保有者 認定 2024 時間をつなぐ手(徳寿宮)、Kヘリテージアート展 イウムのギョル(昌慶宮) 展示 2024 NEXON財団 ボードレスクラフト版 時間の魔法師: 異なる世界に向かって (徳寿宮) 展示 2024 第23回 全州伝統工芸品展(金沢21世紀美術館) 展示 2025 大韓民国 国家無形遺産 名人名品展(昌原)
---	---

○出演

	イ・シヒョン ー舞踊 ・ 東京Session House/秋田Art Box Oroshimachi 招待公演<チャンギダ>出演 ・ ソウル国際ダンスフェスティバル インタンク <ドッケビネーション>振付 ・ アジア-イベロアメリカ文化財団とロス・アンデス文化院 主催 In Colombia(ボゴタ & メデジン) 3カ国協力プロジェクト出演 ・ ポーランド・ワルシャワ・ザビロバニャフェスティバル、スロベニア・リュブリャナUKREP、マリボルLENTフェスティバル 招待作品 <シー(Seed)> 振付および出演
	ソン・ウンギョ ー舞踊 ・ 韓国芸術総合学校 創作科 専門士 卒業 ・ フランスオーリヤックフェスティバル 韓国招待 リキッドサウンド <ギン :演戯解体プロジェクト> 出演 ・ スロベニア・リュブリャナUKREP、マリボルLENTフェスティバル 招待作品 <シー(Seed)> 振付および出演 ・ 韓国国立現代舞踊団 <サンサン>、<シンフォニーinC> 出演
	パク・スヨン ー舞踊 ・ 韓国芸術総合学校 創作科 芸術士 卒業、専門士 在学中 ・ <ドイゴ-デゴ> 振付 ・ <受信なき温度> 振付 ・ <私の一握りとあなたの一握りは違う> 振付 ・ リキッドサウンド <ギン :演戯解体プロジェクト> 出演
	キム・ソヒ ー舞踊 ・ 韓国芸術総合学校 創作科 芸術士 卒業 ・ project I-us <トゥム>、<敵>、<モンキービジネス> 出演 ・ リキッドサウンド <ギン :演戯解体プロジェクト> 出演

	キム・ヘユン ー舞踊 ・梨花女子大学 舞踊家 韓国舞踊専攻 卒業 ・韓国芸術総合学校 創作科 専門士 在学中 ・コレクティブ メドゥプ <ウォーミングアップ_オフシーズンの合宿> 共同企画および出演 ・第31回 新人デビュー展 <卒業転換> 振付および出演 ・Leekdance company 新作 <オール ザ ウォールズ> 出演
	パク・セホ ー演戯 ・韓国国家無形遺産「男寺党ノリ」、「裡里農楽」伝授者 ・中央大学 打楽演戯科 卒業 ・(社) 韓国国楽協会 坡州支部 副支部長 ・IPN company 代表・第19回 KBS国楽大競演 サムル部門 優勝
	イ・ミョンモ ー演戯 ・韓国国家無形遺産「男寺党ノリ」、「裡里農楽」伝授者 ・漢陽大学 国楽科 博士課程 修了 ・伝統打楽グループ IN風流 総括PD ・仁川広域市桂陽区立風物団 訓練長
	ソン・チャンヒョンー演戯 ・京畿道無形遺産「京畿シナウィ舞」伝授者 ・韓国芸術総合学校 伝統芸術院 演戯科 卒業 ・TikTok・Instagram フォロワー20万人、国内唯一のサンモ クリエイター ・ドバイ万博 韓国館・タイ館 単独公演 ・第9回 テアン全国国楽競演大会 パンソリ 一般部 大賞
	パク・ミンピョ ー演戯 ・韓国国家無形遺産「東海岸ピョルシンクツ」伝授者 ・漢陽大学 国楽科 修士課程 修了 ・仁川広域市 延寿区立 伝統芸術団 団員 ・第6回 青春熱戦 出師表 大賞

	ハン・ジスーセンファン ・ 韓国国家無形遺産「ピリ正樂 及び 大吹打」伝授者 ・ ソウル大学 音楽大学 修士課程 修了 ・ 韓国芸術総合学校 伝統芸術院 芸術士 卒業 ・ センファンバンアッカン ディレクター ・ JTBC ID, 文化遺産訪問キャンペーン等 音楽作曲 ・ 2024 大阪韓国文化院 新庁舎 移転記念 音楽会「古友情談」出演
	カン・テフソーコムンゴ ・ ソウル大学 音楽大学 修士課程 在学中 ・ 韓国国立劇場 レポートリーシーズン 〈マクベス〉 参加 ・ ARKO青年芸術家跳躍支援 〈音楽は言語ではない〉 企画 および 演奏 ・ 2023 21C韓国音楽プロジェクト 大賞

○制作

	イ・インボ ー演出 ・ 触覚コンサート 〈五つの記憶〉 演出・ 舞踊劇 〈見えない境界〉 演出 ・ 韓国国立国楽院 舞踊団 定期公演 〈新・宮中讎禮〉 演出 ・ 〈ギン:演劇解体プロジェクト I〉 演出 ・ 創作の窓 今年の新作音楽劇 〈視線 si, Sonne!〉 演出 ・ ACC国際ミュージックフェスティバル 〈クツとフルリム〉 演出
	シム・ジュヨン ー振付 ・ 舞踊 〈春鶯と處容〉、〈バディ・ミュージック〉 など 振付 ・ 演劇 〈ギン:演劇解体プロジェクト I〉 振付 ・ 演劇 〈シラノ〉、〈ヴェローナの二紳士〉 など 振付 ・ サーカス 〈ハル〉、〈梯子の上で〉 など 振付 ・ その他 〈視線〉、〈グリーンインテリジェンス〉、〈ドラゴンキング〉 など 振付
	チュ・ジュニョンー作曲 ・ 映画 〈西洋骨董洋菓子店 アンティーク〉 作曲 ・ アンシ国際アニメーションフェスティバル 〈ポリヤ〉 音楽監督 ・ リキッドサウンド 〈ギン:演劇解体プロジェクト I〉 音楽監督 ・ 2023 韓国国立劇場 音楽劇 〈視線 si, Sonne!〉 音楽及び芸術監督

	イ・フィソンー舞台デザイン ・ 複合芸術チーム「リキッドサウンド」公演美術デザイン ・ ACC 国際ミュージックフェスティバル〈クツとフルリム〉デザイン ・ 韓国国立国楽院〈今、私たちは〉デザイン ・ 〈実験する人間〉超臨界流体 デザイン ・ タイ バンコク Intact_critical point 設置デザイン
	ラ・ジウンー映像 ・ 2017-2025 韓国国立無形遺産院 開幕・年末・企画・常設公演 など ・ アルゼンチン・サルタ、ブエノスアイレス 韓国国立無形遺産院「K-無形遺産フェスティバル」〈ノルダガセナ〉 ・ 全北/全南道立国楽団 企画公演〈ウリオメ〉、〈青いクジラ 歌舞音楽会〉 ・ ヨウラクフェスティバル、PAKK X EERU (JAMBINAI)〈静かなシッキム〉 ・ メキシコ 50回 セルバンティーノ国際フェスティバル 韓国国立無形遺産院「K-無形文化遺産フェスティバル」
	チェ・ウォンー衣装デザイン ・ 韓国国立劇団 〈彼の母〉 〈万船〉 〈孤独な入浴〉 〈1945〉 など ・ ソウル市劇団 〈正義の人々〉 など ・ 韓国国立舞踊団 〈ザ・ルーム〉 など ・ 韓国国立唱劇団 〈オルフェオ戦〉 〈夢遊桃源図〉 など ・ 韓国国立オペラ団 〈蝶々夫人〉 など ・ ソウル市オペラ団 〈ドン・ジョヴァンニ〉 〈魔笛〉 〈コジ・ファン・トゥッテ〉 など

□ 公演ポスター

